

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境測定				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	119	計画事業名	環境測定	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					[事業開始] 昭和44年度			
		[小 柱] (3)地域で進める環境行動の支援					[終了予定] - 年度			
		[施策] ①自然共生の推進								
	根拠法令等	その他	[法令等名]	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、放射性物質汚染対処特別措置法						
	事業対象	一般区民								
	事業目的	区内の環境(大気汚染、騒音、振動等)を継続的な測定・調査により的確に把握し、環境保全の施策の基礎資料とする。また、得られたデータを基に区民に対して環境保全に対する意識の普及・啓発を図る。								
	事業内容	①大気汚染常時測定(SPM(浮遊粒子状物質)、OX(光化学オキシダント)、NOX(窒素酸化物)、温度) ②主要交差点窒素酸化物調査(上野一丁目付近交差点、駒形橋西詰交差点) ③区民環境調査(水質調査等を実施) ④主要幹線道路沿道の騒音・振動調査及び自動車騒音常時監視(年1回3地点)								
委託の有無	一部委託	委託内容	測定機器のメンテナンス、一部測定業務							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度			
	活動指標	環境測定実施件数	件	2,250	2,250	2,256	2,250			
		区民環境調査実施回数	回	4	4	4	4			
	成果指標	大気環境基準の達成状況	-	改善	OX以外は達成	OX以外は達成	OX以外は達成			
		区民環境調査参加人数	人	維持	239	254	230			
	決算額 (単位:千円)					6,899	6,985	4,189		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,101	4,812	5,350		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				5,538	5,340	4,179		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,362	1,646	10		
		総経費				12,001	11,798	9,539		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0			
	一般財源(区負担額)				12,001	11,798	9,539			
前回評価から改善した事項	仕様書の見直しを行い、より効率的な測定を実施することができた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	環境大気常時測定や交差点付近の窒素酸化物測定は、区内の大気汚染状況を把握するためのデータとして、継続的な測定を実施することが必要である。							
	効率性	3	国、都の状況を見ながら、実施方法の効率性を見直していく。							
	手段の適切性	3	測定機器は高価なものが多く、委託した方が安価なもの、高度な技術が必要なものについて委託により実施している。							
	目的達成度	3	環境基準未達成であった光化学オキシダントの対策は、広域的な対応が必要であることから国、都の状況を見ながら今後も検討を行っていく。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
大気汚染防止法の規定で、大気汚染常時測定は大関横丁(自動車排出ガス測定局)で都が測定している。区には一般測定局がないため、分庁舎で測定を実施しているが、PM2.5等の関心が高いもの等、今後のあり方等を検討していく。						維持				